

## 受賞報告

### 日本支部会員が 2009 Best *Geosynthetics International* paper Award を 2 件受賞

ジオシンセティックス技術情報編集委員会

□ IGS が発刊する学術論文集 *Geosynthetics International* において、毛利栄征会員・松島健一会員 (独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所)・龍岡文夫会員 (東京理科大学) の下記の論文が 2009 年の最優秀論文 (Best paper) に選出されました ;

Mohri, Y., Matsushima, K., Yamazaki, S., Lohani, T., Tatsuoka, F. and Tanaka, T. (2009). New direction for earth reinforcement: disaster prevention for earthfill dams, 16, No.4, 246-273.

本論文は、地震および洪水によるため池堤体の被害をジオシンセティックス技術によって抑制する方法を検討されています。本論文の一部は、5th International Symposium on Earth Reinforcement (IS-Kyusyu 07) において Keynote Lecture として講演がなされました。受賞論文の一部は、本技術情報誌においても掲載されています (Vol.24, No.3. 2008 年 11 月号)。

□ 龍岡文夫会員 (東京理科大学)・平川大貴会員 (防衛大学校)・野尻峰広会員 (川崎地質)・相澤宏幸会員 (独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)・錦織大樹会員 (茨城県)・相馬亮一会員 (東洋エンジニアリング)・館山勝会員・渡辺健治会員 (公益財団法人鉄道総合技術研究所) の下記の論文が、最優秀論文次点 (Honorable mention) に選出されました ;

Tatsuoka, F., Hirakawa, D., Nojiri, M., Aizawa, H., Nishikiori, H., Soma, R., Tateyama, M. and Watanabe, K. (2009). A new type of integral bridge comprising geosynthetic-reinforced soil walls, 16, No.4, 301-326.

本論文は、一体橋梁 (インテグラル橋) とジオシンセティックス補強土工法との融合によって経済性と安全性を両立した新形式の橋梁構造物を提案されています。

受賞論文はともに 5<sup>th</sup> International Symposium on Earth Reinforcement (IS-Kyusyu 07) にて発表された論文から選出され、IS-Kyusyu 07 特集号として *Geosynthetics International* 誌に掲載されました。両論文にてご検討された構造物はともに実用化に至っており (技術情報誌 Vol.27, No.1. 2011 年 3 月号)、今後ますますの技術発展が期待されます。